



平成 23 年 5 月 31 日

各 位

会 社 名 J Xホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 高萩 光紀
コード番号 5020 東・大・名証第1部
問合せ先 財務IR部 IRグループマネージャー
山本 真義
(電話番号 03-6275-5009)

当社子会社によるオーストラリア北西大陸棚 WA-191-P 鉱区における 原油の発見について

当社子会社のJ X日鉱日石開発株式会社（本社：東京都千代田区大手町二丁目、社長：古関 信）が100%出資する Nippon Oil Exploration (Dampier) Pty Ltd は、オーストラリア北西大陸棚海域の WA-191-P 鉱区（西オーストラリア・ダンピア沖 150Km）に位置するフィヌケイン・サウス構造に対し試掘井を掘削した結果、良好な砂岩貯留層において約 18m の厚さで原油の存在を確認しましたのでお知らせいたします。

なお、これに伴う現時点での当社連結業績への影響は軽微です。

以 上

「添付資料」オーストラリア北西大陸棚 WA-191-P 鉱区における原油の発見について

2011年5月31日

各 位

J X 日 鉱 日 石 開 発 株 式 会 社

オーストラリア北西大陸棚 WA-191-P 鉱区における原油の発見について

当社（社長：古関 信）が100%出資するNippon Oil Exploration (Dampier) Pty Ltdは、オーストラリア北西大陸棚海域のWA-191-P 鉱区（西オーストラリア・ダンピア沖150Km）に位置するフィヌケイン・サウス構造に対し試掘井を掘削した結果、良好な砂岩貯留層において約18mの厚さで原油の存在を確認しましたのでお知らせいたします。

フィヌケイン・サウス構造は、当社が権益を保有するムティニア・エクセター油田から14km東に位置しております。

今後は商業化に向け、埋蔵量評価を実施するとともに、早期の生産開始を目指し、同油田の既存生産設備を利用する方法を含めて開発計画を検討してまいります。同油田の既存設備を利用する場合は、2013年以内に生産開始という早期開発が可能となる見込みです。

当社は、オーストラリア北西大陸棚海域において生産・探鉱活動を積極的に推進しており、フィヌケイン・サウス構造での原油の発見は、今年4月のWA-290-P 鉱区の試掘井における天然ガスの発見に続くものです。今後も、石油・天然ガス開発事業の着実な拡大に向けて、一層の努力を続けてまいります。

以 上

【添付資料】

Nippon Oil Exploration (Dampier) Pty Ltd の概要、WA-191-P 鉱区の概要および
鉱区位置図

1. Nippon Oil Exploration (Dampier) Pty Ltd の概要

- (1) 本社：パース市（オーストラリア）
- (2) Director：古関 信
- (3) 資本金：34,809 千豪ドル（2011 年 1 月 1 日現在、当社 100%出資）
- (4) 設立：1997 年 4 月

2. オーストラリア WA-191-P 鉱区の概要

- (1) 対象鉱区：オーストラリア北西大陸棚
- (2) 鉱区名：WA-191-P
- (3) 鉱区面積：約 650 km²
- (4) 権益比率：Santos Ltd. (33.4%)
Kufpec Australia Pty Ltd (33.4%)
Nippon Oil Exploration (Dampier) Pty Ltd (25.0%)
Tap(Shelfal) Pty Ltd (8.2%)
- (5) オペレーター：Santos Ltd(33.4%)

<参考>ムティニア・エクセター油田（Mutineer-Exeter）の概要

- (1) 対象鉱区：オーストラリア北西大陸棚
- (2) 鉱区名：WA-26-L, WA-27-L
- (3) 権益比率：Santos Ltd. (33.4%)
Kufpec Australia Pty Ltd (33.4%)
Nippon Oil Exploration (Dampier) Pty Ltd (25.0%)
Woodside Energy Ltd (8.2%)
- (4) オペレーター：Santos Ltd(33.4%)
- (5) 生産量：約4,800B/D（2010年）

WA-191-P 鉱区位置

